

柏樹

題字
南 勇 会長
川口市退職校長会
会報 第13号
平成28年6月1日

終活のこと

(最近の読書徘徊)

佐藤 則元



2014年の日本男子の平均寿命は80・21歳、女性が86・61歳。それを超えれば儲けもの。が、

少子高齢化時代の到来では、あとに残る者のことを考えると80歳位が程よい寿命と考えていた僕が、この8月には85歳になるのだから驚きだ。それも多少背中丸くなったが、腰はそれほど曲がらず、生きてこられたのは運が良かったことと親から授かった遺伝子の功だろう。この事を例証するなら母93歳で生涯を全う。現在、長姉105・次姉96・次兄88歳。それぞれ老化して解体寸前だが何とか介護の手を借りながらも命を留めている。

外山滋比古が「老いの整理学」(扶桑

社・新書では後片付けではなく長壽の秘策なので僕も実践している内容だ。「神経を使わないで、ストレスを溜めず、忘却を恐れずに嫌な過去は忘れること、忘れずに溜めては、新しい知識・情報も入らない。老いたら子供に返る。怒り、泣き、大いに笑う。また年、職の異なる人と交わり、語り合うのが長壽の秘訣。そして、ゆっくり急いで歩く。川が流れるように人も動かないと腐るんだ」と。

さて、終活の最期は死。「死は永遠の眠りだ。再び目覚めることはない」(シエクスピア)

「精神と物質」(利根川進・立花隆著 文春文庫)で利根川は語る。

「地球が出来て45億年。その間に地球の奇跡的活動が繰返し行われて無機物が変化して有機物となり霊長類が誕生した」対する立花は「精神(心・魂も脳研究によって解明されるのか)利根川「魂は脳死で消える」と。立花「あなたは唯物論者か」と問う。利根川「唯心論者だ」?????

僕は、靈魂の存在を信じたい。「千の風になって」がある。芥川の「蜘蛛の糸」「杜子春」。佐藤愛子の「冥土のお客」など憑依物もまんざらではない。加えて「地獄八景」者戯(じごくばつ)けいもうじやのたわむれ)は地獄旅行の傑作。関西落語の故桂米朝の十八番。視聴して地獄の下見をしませんか。それとも天国?宇宙なら宮沢賢治の銀河鉄道で行きましょう。

良い歳を重ねる

平野 徳枝



定年退職後、幼児教育に携わる機会を得て今年で8年目を迎える。

着任以来楽しみにしているのが、登園して来る園児を迎える時間である。

元気に挨拶する子、恥ずかしそうに、また泣きながら抱かれて登園する子、泣きながらも挨拶はしなければと思うのかハイタッチだけはする子と、様々な姿が見られる。やがてはどの子も、笑顔で挨拶できるようになり、立ち止まり深々と頭を下げて挨拶する子も増えてくる。いじらしい子どもの姿、成長の様子が見られ、自ずと笑みがこぼれる癒されるひとときである。

ある時は、登園して来た園児に「はい、お手紙!」と小さく折り畳んだ折り紙を手渡される。開いてみると、かわい絵とともに、「えんちようせんせい、だいすきだよ。」と書かれていたり、文字に興味を持ち始めたばかりの子だったりすると、見様見真似で一生懸命書いたであろう線が描かれている、ということもある。

日中、園庭から「園長先生 来て!」と呼ばれ出てみると、小さな手の中にはダンゴムシや柿の種が。それが、色づいた木の葉や泥団子だったりする。大人にとっては当たり前のことも、子どもにとっては大発見の宝物であったりする。これらのどれに、将来に大きく影響する種子が含まれているか分からない。体験というたくさんの種子をまき、子どもたち一人ひとりの好奇心や探求心・意欲を大切に、将来に繋がるであろう「学びの芽」を育てていくのが幼児教育の役割であろうと考える。それはやがて、小学校以降の教育によって発芽、成長し、大きな花を咲かせるであろうことを願っている。

「我以外、皆師なり」という名言があるが、正しく、幼い子どもたちから学ぶことも多い。この幼い子どもたちに癒しと生きるパワーをいただき、前向きに毎日を送り、良い歳を重ねたいと実感する昨今である。

柏樹会総会

祝賀会・懇親会



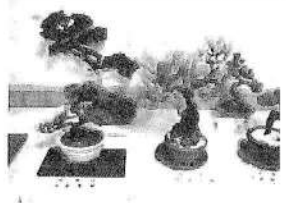
平成27年5月
8日(日)、川口
市退職校長会総会
が太陽サパールで
開催されました。

南男会長の挨拶に続き、奥ノ木信夫市長・新海今朝巳教育長・栗原喜一郎顧問・松田裕之市立校長会長の祝辞をいただきました。

議事に入り、事業報告及び計画、決算及び予算が承認されました。その後、祝賀会・懇親会が催され、盛会裏のうち閉会いたしました。



上・総会
左・美術展より



米寿のお祝い

うま
と
い
で
ざ
い
め
ど
お



並木美昌先生

—ちよつといい話—

対抗心

松田登志男

手になったらと勧められたが、結局は性格と同じく地道な進路を選択した。しかし、あの時、挑戦していたらという気持ちは心の片隅に残っていた。

昭和55年、仲町中学校に異動し2年2組を担当した。そのクラスに芸能人(歌手) A子が在籍していた。A子の名は、三波伸介との「味ボン」のCMや、スターに挑戦のエンディング曲を唄っていたことから、よく知っていたが川口市民であることまでは分からなかった。そのタレントが教室で自分の前にちよこんと座っているのである。本当にびっくりぽんであった。

テレビの収録があった翌日には決まって沢山の花束が届けられて教室はきれいな花で飾られた。家庭訪問のときレコードを頂いた。「初恋」というタイトルで「最上川」や「さくらんぼ」が登場、私の故郷が舞台になっていて民謡をあしらった曲調を見事に唄いあげていた。この少女演歌節を聴いて、美空ひばり二世と関係者が評価したのも分かる気がした。

この頃から私はA子に対抗心を持つようになつた。自分も中学生の頃は歌手に憧れたものである。山形の田舎で三橋美智也の歌をよく唄っていた。中学3年の文化祭では「古城」を羽織・袴の正装で唄った。多くの方々から歌

神根小の思い出より

諸星京子

就職生活の最後の3年間で神根小。着任した年に特別支援学級が新設され、初めての経験に不安を感じましたが、できる限り特学の教室に足を運んでみました。最初の保護者会では、矢継早に意見や要求を出されて少々驚きました。プールの授業が始まれば、共にプールに入って水に親しんで、児童理解に努めました。

9月の運動会が終わってPTA役員会の席上、特学の代表の保護者から、神根小の受け入れに対してお礼の言葉を聞くことができた時には、出席の役員さん方と共に安堵いたしました。

開校130年を過ぎて初めて市の研究委嘱(学校図書館教育)を受けていましたので、教員が知恵を出し合い、図書室の更なる充実と、児童がどうすれば読書に関心を持って読むようになるか、又、調べ学習への取り組みに興味を持つようになるか等々、あの手、この手を見出し取り組んでいた事も思い出に残ります。児童に勧めたい本をTVを通して紹介し、その続きが読みたくなるように廊下の展示コーナーに置いて読書意欲をわかせるのです。大型絵本を作って体育館で図書集を開いて教員が役割分担をして読み聞か

A子の学校生活は、芸能人特有の派手なところもなく、常識豊かで成績も良く、書道の腕前も素晴らしく、天から二物も三物も与えられた中学生であった。結婚式にも招かれたが、その時には歌手を引退していた。

この原稿の執筆に当たり、A子の歌声をインターネットで久しぶりに聴いた。30代の青年教師時代が甦り、私自身にとって、ちよつといい時間になつたような気がする。

せをしたり、ペーパーサート形式にした
りして児童を楽しませた事も、教員が
惜しみ無く作業を続けて、3ヶ所の図
書室の充実や活用の工夫に余念がなく
一丸となって取り組んでいた日々が懐
かしく思い出されます。

そして、3年目。文部科学省からの
視察がありました。取り組んできた概
要の説明と資料を閲覧していただき3
ヶ所の図書室を案内しました。(私が退
職した翌年、文部科学省から表彰を受
けました。)

最後に、定年退職する時の1月17日
の夕方、私は電話中でした。教頭さん
が校長室を覗いて、「終わったら職員
室へ」と。その後、やゝ暫くして別の
教員が覗いたので、何かあったのか？
と思って電話を早く済ませて隣の職員
室へ小走りで入った途端、全教職員が
残っていて拍手と共にハッピーバース
デーの歌！ 私の机の上には、ローソ
クに火が付いているケーキが用意され
ていたのです。それを目にした私は、
両の手で顔を覆って感涙でした。還暦
は一生に一度限りですから」と教頭さ
んが声をかけて下さり、神根小で、こ
んな事があるとは夢にも思わなかつた
ので感慨深い誕生日になりました。

神根の小高い丘の上にも児童の歓
声が木霊している事でしょう。毎年、
入学式、運動会、卒業証書授与式に足
を運んでいます。神根小に感謝です。

各部の活動から

四季折々に・・・俳句の集い

「俳句の集い」は、昭和57年に村上
政三先生や村本精一先生などのご尽力
で発足した伝統ある部会です。

多くの会員に支えられて現在に至る
まで会員は大幅に変わりましたが、発
足当時から会員である白根栄一先生
を会長として、創設時の先生方の思い
に伝えるべく活動を続けています。

現在の会員数は18名。年に4回の句
会には毎回12〜13名が参加し、白根先
生(毎回参加)の含蓄あるご助言をい
ただきつつ進められています。新鮮な
感性を持つ若い会員も入会し、それぞ
れに個性的な俳句を出句して充実した
句会となっております。

発表の場としては、年4回の句会と
そのまとめとしての句集『柏葉』の発
行です。総会の当日に展示している手
作り短冊も好評のようです。

今後は発展的な活動として吟行や他
の俳句大会への参加、俳句児童生徒と
の交流、文学散歩の方々との連携など
の多様な活動も考えられます。

いまや、俳句による世界的な平和へ
の輪が国情や民族を超えて広がってい
る時。新会員の力をお借りし、集いの
活動を進展させたいと考えています。

(関根要造)

健康教室・ヘルシー活動

毎年、6月は簡単ヘルシー料理、10
月はウオーキング、年2回の活動です。
参加準備等気易く簡単、日頃の生活
習慣をリフレッシュする絶好の機会で
す。昨年は29名登録いただきました。

ヘルシー料理では、県食生活改善協
議会長桜井道子氏にご指導を依頼し、
10年以上になります。昨年は「揚げな
いトンカツ」が主菜のレシピでバラ
スのとれた料理作りを話題豊かに楽し
み、美味しさも格別でした。参加18名。

10月は東浦和駅から鷺山公園迄「緑
のヘルシーロード」ウオーキング実施。
川口・利根大堰間54kmの内の8kmです。
天候に恵まれ、秋声の見沼代用水東縁
の行程を満喫しました。参加13名。

本年度も、6月は料理教室、10月は
東浦和駅前、見沼通船堀、フジ山を二



つも眺め、
大門を経て、
美園駅まで
「歩行楽」
(あるきん
ぐ)約7km
を予定して
います。せ
ひご参加下
さい
(内山良徳)

親睦旅行

「楽しい宴の

甲斐善光寺・猿橋見学の旅」

昨年度は、川口善光寺とも縁の深い
甲斐善光寺を中心に甲府方面への旅を
実施しました。

当日は好天に恵まれ、青空を背景に
建つ善光寺の大きな伽藍に圧倒されま
した。闇の中を
手探りで進むお
戒壇巡りでは仏
の導きを感じさ
せられました。



猿橋では、深
い谷に架けられ
た橋を下から見
上げたり、ガイ
ドさん手作りの紙芝居を見たりして猿
橋を作った先人の知恵に驚かされま
した。

昼食は石和「小紋」でした。女将さ
んや娘さん達による三味線や太鼓の演
奏があり、参加者も三味線に合わせて
歌を披露したり、手拍子をしたりと大
いに盛り上がり楽しい宴となりました。

笹一酒造見学では、色々なお酒の試
飲をしたり、面白い物をしたりしました。
仏の導き、先人の知恵、伝統芸能と
盛り沢山の親睦の旅となりました。

(和田悦男)

文学散歩

10月30日、24名の参加者が都電・面影橋駅に参集しました。駅を降り立つと、すぐ傍に小さな「山吹の里」の碑がありました。この碑は、江戸城の築城に関わった「太田道灌」の逸話に基づいて作られたものです。神田川沿いに歩いていくと、東京染ものがたり博物館があり、型染の製作現場や製品を見ることができました。まもなくして、細川家下屋敷の庭園跡地をそのまま公園にした新江戸川公園を散策し、関口芭蕉庵に寄りました。芭蕉は、郷里伊賀から2度目に江戸に出て、ここで4年ほど住みました。庭には、「古池や蛙とびこむ水の音」の句碑(真筆)などがありました。最後は、早稲田大学の構内にある坪内博士記念演劇博物館を見学しました。雑誌「早稲田文学」の成立に貢献した英文学者・坪内逍遙の古稀と「シエークスピア全集」40巻の翻訳事業を記念して1928年に設立されました。日本で唯一、演劇を専門的に扱う博物館ということで、昭和の日本映画全盛時のポスターなど懐かしい資料がたくさん展示されています。帰りは、都電・早稲田駅傍のお店に入り、蕎麦を味わいながら親交を温め、帰路につきました。

(谷口治郎)

盆栽クラブの活動

盆栽クラブの活動は年2回。1度目は樹里安で行なわれる盆栽展に参加すること。出品されている作品の見事さは勿論ですが鉢や敷板、棚の造り等総合芸術の思いがたします。盆栽鑑賞後はランチタイムで盆栽のことや教育情報のやり取りで盛り上がりします。

2度目は植木職人の桐山さんのお庭や盆栽の棚を見て実技研修をします。本年度は五葉松の植え込みと針金かけです。五葉松を選ぶのも選者の技量によるようです。先輩から順に選んでいくのを見て「なるほど」と思います

が私にとってはチンプンカンプンのことです。針金をかけて半年が過ぎ、枝にくい込んできましたので、はずしました。自由気ままに伸びていくのが懸念されます。さてどう育ちますか。

今年度の実技研修は松竹梅の寄せ植えです。同じ材料でも作る人の個性によって様々な作品となりますので、楽しみです。皆様の参加をお待ちしています。(佐藤順子)



柏樹会ゴルフに参加して

先日、第77回柏樹会ゴルフに参加させていただいた。年間に数回開催されているが、仕事の関係で久しぶりの参加となった。当日は、三浦先生と新納先生と組ませていただいた。三浦先生は柏樹会ゴルフの中で80歳を超える最高齢の参加であり新納先生は柏樹ゴルフの重鎮として活躍されている方々なので大変緊張しての参加であった。まず、ティーショットのドライブーで驚かされた。私も自分のドライブーには少し自信があったが、三浦先生は前方の赤ティーからショットしているが、時々私のボールを追い越してしまふことがあったのにはびっくりしてしまった。私が20年後に80歳を超えて三浦先生のようなショットが打てるかといえば自信がない。それだけ元気にゴルフをしている三浦先生が羨ましくもあり、私のこれからの目標でもあると考えさせられる一日であった。また、新納先生は、アイアンの精度が素晴らしいらしく、ゴルフを心から楽しんでる姿に感銘を受けた。

これからも柏樹会ゴルフに参加させていただいて、自然の中で心身を鍛えつつまでも若く保てるように頑張つてゴルフを続けていきたいと思う。

(斎藤栄一)

写真クラブ

春の撮影会は葛飾柴又帝釈天題経寺及び、その界限でした。葛飾柴又と言うと「真さん」のイメージが強烈ですが、帝釈天題経寺の回廊式大庭園「蓬溪園」(すいけいえん)は見事な庭園で、素晴らしい写真の題材となりました。

近くの葛飾区山本亭は東京都選定歴史的建造物で、書院庭園は米国の日本庭園ランキング三位に選ばれました。当然、撮影の対象です。

秋の撮影会は皆様良くご存知の天下の名園小石川後楽園でした。雪吊りもあり、素敵な紅葉でしたが生憎、天気に恵まれず、紅葉の発色が今一で本当に残念でした。研究会は撮影会の作品が主になりますが、撮影会以外の写真も持ち寄つて楽しんでいきます。

今年度は光が丘公園(練馬区)と、飛鳥山公園界限を予定しています。(後藤典夫)



釣りクラブ

「天気晴朗なれども波高し」

釣りクラブでは、鱸の船釣り、ボートでのハゼ釣り、旨い魚を食べる会の3つの事業を行っています。

昨年のは、葛西から東京湾に出ての鱸釣りとなりました。当日は、台風の影響により「天気晴朗なれども波高し」、おまけに風と潮の流れが逆で大変釣り辛く、晩のおかずを釣るのに精一杯。帰り際に、船宿から前日に船長が釣った鱸を沢山いただきました。自宅に帰って、「自分で釣った」と報告したか、「船長からいただいた」と報告したかは定かではありません。江戸川放水路でのボートによるハゼ釣りも、急な冷え込みでハゼも食欲がなく、寂しい釣果となってしまいました。帰り途中で温かい中華料理を食べ、気分転換をしました。

さて、旨い魚を食べる会は、蔵の寿司店で「デリシャス・ランチ」をいただきました。個室でアルコールも入り、盛会でした。釣りに参加されなくても旨い魚を食べる会に参加されることは大歓迎です。

本年度は、鱸の船釣り、鱒の船釣り、旨い魚を食べる会の3つの事業を計画しています。多くの皆様方の参加をいただき、楽しい時を共有できることを願っております。

(江川 剛)

美術展の更なる

充実を目指して

回を重ねて11回目の美術展。皆さまのご協力で、他では見られない柏樹会独自の催し物として今日まで発展して参りました。改善に改善を重ね、昨年は出版物を今年は更に絵画クラブも加わるということから、その点数も80点を越え益々バラエティに富んだユニークな美術展となるでしょう。

申すまでもなくこの美術展は、厳しい職務に専念された先生方がご退職され、少しでも心を癒し、新たな生き甲斐を求め、また教養を高め、お互いの親睦を深めていくことに大きな意義があります。いつもこの原点到ち立ち返り、見直していく必要があるかと思えます。

欲をいえば、もっと作品をじっくり観る時間と関心度が欲しいです。折角の展示が勿体ないです。また高齢化のため搬入搬出が大変で、くれぐれも事故のないようご注意ください。



なお今年の遺作品は榊原一郎先生。

先生の素晴らしい作品を通して個人を偲び、鑑賞に浸っていただけなら幸いです。

(小川吉之丞)

パソコンクラブ

27年度のパソコンクラブの活動内容は、駒崎先生の指導の下、ワードを中心にして6月から2月まで14回の活動を行った。いつも駒崎先生から提示してくださる資料を基に、パソコンを打ち始めるのであるが、なかなかその手順通りには行かず、四苦八苦している。



昨年は、写真やイラストの取り入れ方、駅から自宅までの地図の作り方、案内文や報告書の作成など、駒崎先生にアドバイスをしていた大きな進んでいる。参加者は5〜6人なので、互いに教え合い、和やかな雰囲気です。パソコンと格闘している。いろいろな画面ができあがっていく楽しさがあり、操作の仕方を覚えるのも楽しみである。今年度は、エクセル、メールなど要望に併せて進めていく予定であったが、部員が少ないので、一時休部することとなった。

(龍口喜子)

絵画クラブ

「絵を描く楽しさを味わいませんか」

平成27年度より、多くの会員の熱望により、柏樹会・絵画クラブが発足しました。講師の濱口先生、会員10名で楽しく和やかに活動しています。

活動は2ヶ月に1回のペース。主に静物を描いています。画材は濱口講師、小林幹事が毎回用意してくれます。活動内容は、絵の具、色鉛筆等の使い方、デッサンの基本、構図のとり方、彩色の仕方等を教えていただき、作品を作ります。うまく描けないのですが、講師のやさしいご指導でついやる気になってしまいます。そしてびっくりしたことをひとつ。へたくそな絵に講師のちよつとした手が加わると、あつという間に絵が変わってしまいます。「ええうっ！俺ってこんなにうまかったっけ！」となんかいい気持ち・・・。

終わった後がまた楽しい。それぞれが描いた作品についての批評、感想等を話し合う研究会。毎回激論必死。それぞれ「絵画論？」に口角泡を飛ばし、熱が入る。私などは皆さんと気持ちよく、親しく話し合うのがなんといつても楽しいのですが。

さあ！ 皆さん！ぜひ、ぜひ、絵画クラブの極上の楽しさを味わってみませんか！ 笑顔でお待ちしています。

(渡邊秀人)

学校安全教育の取組

文部科学大臣表彰を受賞して

川口市立領家小学校

校長 佐藤利幸

本校は、学校安全の分野において、平成27年度文部科学大臣表彰を受賞いたしました。ここに、本校の取組の概要とその成果を紹介し、私の感想を述べさせていただきます。

《取組の概要と成果》

一、様々な災害に対応できる児童の育成に向けた防災に関する指導の充実
③避難訓練の工夫・改善及び訓練後の振り返りを継続的に実施してきたことにより、児童は様々な避難行動が素早く行えるようになってきている。

二、年7回に及ぶ避難訓練の実施

③特に竜巻対応避難訓練では、児童用机でシェルターを作り活用するなど、避難行動のしかたを明確にし、徹底することができた。

三、校内掲示物の充実

③校内各所に掲げた安全確保に関する掲示物により、児童の防災や防犯への意識を向上させることができた。

四、家庭や地域、関係機関との連携

③特にスクールガード組織との連携が充実し、交通・防犯・防災安全が強化された。

《感想》

本校の安全教育に関する取組の多くはこの学校でもなされている内容だと思いますが、その中で、高く評価していただいた部分をあげるとすれば、次の点であると考えています。
①「竜巻対応避難訓練」を実施するなど、新しい課題への対応を具体的に行ったこと。

②避難訓練が「予告無し」の訓練や「シヨートの訓練」を導入するなど、実践的であること。

③「こんな雲に注意」等の掲示物が児童の注意喚起をしていること。

④スクールガードとの連携が充実し、地域全体への啓発になり、より安全で安心な環境作りに繋がっていること。



があげられると考
えま
す。私
も、毎
朝正
門の
前で
登校
時の
立哨
指導
を
して
おり
ます
が、
それ
ぞ
れ

の登校班

は班長を

中心に指

導された

ことをし

っかり守

つて登校

してきま

す。元気

よく挨拶

を交わし

合うこと

もできて

います。最

最近では、

この時間

帯に通過

する大人

の方々も、

挨拶を交

わし合う

ことが増

えています。

こうし

た声をか

け合う環

境は、情

操面から

ただけで

なく、安



きています。」

学校が、地域に根ざし、地域の温かい支援を受けながら、地域と一体となつて、教育活動を展開していくことは、安全で安心な学校づくりに直結するばかりでなく、そのことで学校も地域も双方が活性化されていくのだということを実感しています。

編集後記

万緑の中や吾子の歯生え初むる

(中村草田男)

「万緑の中や」がピタリポンの良き季節。今年度スタートの総会も無事に終了。

新会員9名を迎え、新たな門出です。この会報「柏樹」のために、快く執筆を引き受けていただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

「総会要項」17ページにあります「支援体制一覧」をよく見ていただき、積極的な参加と各校へのご協力、ご支援を何とぞよろしくお願い致します。

会報「柏樹」が皆様にとりまして少しでも元気づけられる内容にしたいと思ひます。どうか原稿執筆に意欲的に参加していただき、率直なご意見を賜りますようよろしくお願い致します。

(山下紘一)